

名 称	令和2年度 先端建設技術ゼミナール【オンライン開催】 (令和2年度 建コン協関東支部 インフラ維持管理講習会)		
実 施 日	令和2年12月21日(月)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室 先端建設技術センター 会議室
参加者数	35名(会員35名(21社)、非会員1名(1社)、委員会事務局6名)		

実施目的

インフラの維持管理に資する新技術の開発・活用のさらなる促進を目指して、シーズ(開発者)とニーズ(利用者)を繋ぐ機会となる「先端建設技術ゼミナール(インフラ維持管理講習会)」を開催する。

実施概要

2020年度の先端建設技術ゼミナールは、(一財)先端建設技術センターと当協会の共催により開催した。この先端建設技術ゼミナールは、2017年度の二者共催を初回として、翌2018年度、及び2019年度は、国土交通省・関東技術事務所、(一財)先端建設技術センター、当協会の三者共催を実施した。昨年度は、関東技術事務所・建設技術展示館を会場として、新技術の座学と紹介技術の実演による体験型講習会実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催とした。

1. 開催概要

今回で4回目となる本講習会は、令和2年12月21日(月)13時~16時に下記プログラムに沿って開催した。建コン協会会議室には、建コン協代表挨拶者と司会進行など運営者のみが集合し、聴講者及び発表者は全てオンライン(ZOOM)で参加する形式とした。

講習会では、新技術の開発者を講師として、7種類の新技術について、その概要や実例をご紹介いただいた後に、参加者との質疑応答を行った。また、国土交通省総合政策局/公共事業企画調整課/施工安全企画室・新田恭土室長より、「ロボット・ICTの新技術導入に向けた取り組みについて」と題して、新技術やデジタルトランスフォーメーションへの取り組みなど、幅広い観点からご講演をいただいた。

令和2年度 先端建設技術ゼミナール 開催概要	
開催日時:	2020年12月21日(月) 13:00~16:00
開催方法:	ZOOMによるオンライン開催
プログラム:	
13:00~13:05	主旨説明(建設コンサルタンツ協会関東支部)
13:05~15:25	新技術の紹介(各15分×7技術)
15:25~15:55	基調講演(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 施工安全企画室長 新田恭土氏)
15:55~16:00	総括((一財)先端建設技術センター)



技術委員長挨拶



進行状況



新技術の紹介

2. 講演内容

今回の講習会で紹介した新技術は下記のとおりである。発表者の選定にあたっては、点検、調査の効率化、機械化、BIM/CIMに関する技術を中心に選定を行った。

(講習会で紹介した新技術)

- ①パノラマカメラによる橋梁維持管理の効率化 (株式会社 IHI インフラシステム)
- ②C I Mモデル作成支援とモデルの様々な活用 (アイチマイクロ株式会社)
- ③A I / I o Tを活用した建設現場向け技術 (エコモット株式会社)
- ④Nikon ひび割れ計測システムのご紹介 (株式会社ニコン・トリンプル)
- ⑤ドローンと画像解析ソフトによる外壁調査 (株式会社東洋リペアサーベイ)
- ⑥三次元データ総合マネジメントソフト Arena4D の紹介 (株式会社 補修技術設計)
- ⑦調査・設計などへのU A Vの利活用事例紹介 (U A V利活用研究会)
- ⑧基調講演 (国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 施工安全企画室 新田恭士室長)

3. アンケート結果

講習会終了後に、講習会の内容やオンライン開催について質問するアンケートを Web 方式で実施した。

講習会の内容について「説明内容をよく理解できた」、「理解できた」との回答が 100%、「今後の業務にとっても役立つ」、「役立つ」との回答が 100%であったことから、本講習会の内容は会員サービスとして十分に役立つものであったと評価できる。

講習会の時間については、「適切」が 75%であったことから、概ね妥当だったと思われるが、その一方で、「やや長い」14.3%、「やや短い」10.7%の意見もあることから、休憩時間を設けていなかったこと、基調講演は時間配分が短く感じられたことなどが、反省点と考えられる。

次回以降の開催方法については、会場開催、オンライン開催のいずれがよいかの設問に対しては、75%がオンライン開催を希望するとの回答であった。

本講習会では受講料として 1,000 円 (昨年度までの会場開催では無料) を徴収したが、90%以上が妥当な金額であるとの回答であった。

4. 今後の取り上げてほしい技術・話題等

講演会後に行った今後の取り上げてほしい技術等に関するアンケート結果では、主に以下の項目が挙げられた。次回の講習会企画の参考とする。

(今後取り上げてほしい技術等)

- ・BIM/CIM、AI、DX 等の新技術に関する講習会
- ・UAV 活用技術
- ・水中部の調査・点検技術
- ・バーチャル現場見学会
- ・トンネルの自動点検
- ・橋梁や斜面安定等と分野を絞った講習会
- ・先端技術を活用した各種調査事例
- ・AI、5G 等の先端技術導入による効率化、維持管理コストの実績
- ・最新技術活用について行政側の取り組みや考え方について など

5. 参加者の個別意見

今回は新型コロナ感染対策のため、Zoom を活用したオンライン方式で開催した。これに関して参加者から以下のような意見が寄せられた。今後のオンライン講習会の参考とする。

(オンライン講習会に関する意見)

- ・音声聞き取りづらいところがあった
- ・講習会テキストがないので不便であった
- ・休憩時間を適宜に取ってほしい
- ・パネリストの遠隔操作にタイムラグが発生するため、復旧するまでの待ち時間がもどかしいものがある
- ・WEB 講習会はこれからも多く増やしてほしい

—以上—